

児童福祉施設の仕事を志す方々へ

児童養護施設の仕事は、長い年月をかけて、子どもの人生に寄り添う仕事です。長い子どもになると十数年をかけて付き合います。人生の中での良い時も、悲しい時も、嬉しい時も、寂しい時も、子どもと共有し、一緒に泣いたり笑ったり、時には衝突したりして、大人も子どもと共に育ち合っていきます。その意味では「子どもの人生という物語の登場人物」にも成り得る、素敵な仕事です。すぐに答えが出ない事や、子どもの傷つきを前にして、無力感にかられる事もありますが、それを子どもと共に乗り越えた時の喜びはひとしおのものがあります。

広島修道院では「ひとりひとりを大切にする」を目標に掲げ、集団の中でも可能な限り子ども達一人ひとりの思いや希望に向き合うよう養育に努めています。

また人材育成にも注力し、様々な内外の研修や資格取得の機会を設けております。

相談事業として平成 26 年から広島市の委託事業として、「児童アフターケアひかり」という施設退所者支援の為に相談所を開設しております。

社会福祉法人広島修道院としては、乳児院を入りに 0 歳から児童養護施設で 18 歳まで、またアフターケア相談所でその後をも、人の人生に寄り添い支援するという大きな仕事に恵まれている児童福祉事業であるわけです。

「保育」の仕事も「養育」の仕事も、子どもと遊んだり、お世話をしたりと、日々の労働の場面としては、「ミクロ」なことに感じるかもしれません。しかし、「人の集まりが社会となり、社会の集まり国となる」ならば、その構成要因となる「人」を育てる⇒「子どもを育てる」ということは、国や世界を作っていく、とても「マクロ」な仕事とも言えるものです。児童養護施設は、そんな大切な、誇りある事業だと考えております。

寄る辺なき子ども達の為に、あなたの人生の輝ける時をお貸しください。その日々がきっと人生の宝物になることでしょう。

広島修道院 山村 拓哉